



宮田中だより 2020年11月号

電話 045-331-5288



「身近にあった学徒動員」～知って・伝えてほしいこと～

校長 上原 浩

「こどもの国」をご存じでしょうか。保土ヶ谷区からは少し離れた場所になるのであまり馴染みがないかもしれませんが、市内北部では、遠足をはじめよく利用されています。園内を歩いていると、がけや土手沿いに緑色の鉄扉があります。一見して「何かの跡」であったことが伝わってきます。これは、第2次大戦中に使われていた「弾薬庫」の名残です。現在、「こどもの国」がある場所は、戦時中、旧陸軍田奈弾薬庫補給廠（弾薬工場と弾薬庫）があったのです。

1938年、国家総動員法でこの地にあった13戸の農家の住民が強制的に退去させられ、工事が始まりました。1941年に旧陸軍田奈部隊が発足してから、弾薬庫の本格的な運用が開始され、約3,000人の軍属が地雷、手榴弾、各種の砲弾を製造し、これを弾薬庫に保管し、現在の「こどもの国線（長津田～こどもの国）」とほぼ並行してあった鉄道を用い、長津田駅を經由して全国に輸送していました。「こどもの国」は、1959年（昭和34年）、当時の皇太子殿下（現上皇陛下）のご結婚を記念して、全国から寄せられたお祝い金を基に、1965年（昭和40年）5月5日のこどもの日に開園しました。例年、開園日の5月5日は中学生以下の入園料が無料になっています。終戦後、「こどもの国」用地として日本に返還されるまで、米軍弾薬庫として接收されていたので、結果的に都会の近くに豊かな自然がそのまま残されています。



戦時中、戦局の悪化に伴い、労働力不足を補うために、皆さんと同じ年頃の学生が「学徒動員」に駆り出されました。この時、「陸軍田奈部隊」に動員されていたのが、横浜二中（現翠嵐高校）と神奈川高等女学校（現神奈川学園）の生徒たちでした。現在とは教育制度が違い、義務教育は国民学校（小学校）6年間で、その先は高等小学校（2年間）や旧制中学校（5年間）・高等女学校（5年間）がありました。横浜二中と神奈川高等女学校の生徒計450名近くが、各自の意志と関係なく、普通の学校生活を奪われ、朝から夕刻まで砲弾や地雷、手榴弾を作る等の作業をさせられていました。1944年（昭和19年）11月30日、横浜二中の生徒は、長津田駅前集合し、3台のトラックの荷台に分乗し、一路田奈部隊を目指しました。トラックは川沿いの軍用道路を北上し、見通しの悪いカーブに差し掛かったところ、前から佐官旗を掲げた（将校が載った）車がやってきました。すれ違いのため、1台のトラックが路肩に寄せながらバックを始めたところ、前日からの雨で緩んでいた路肩が急に崩れ、約50名の生徒を荷台に乗せたまま、車体は横転し、増水していた川の中に沈んでしまいました。トラックの運転台と荷台の隙間に閉じ込められた生徒達は、冷たい水の中をもがきながら這い出し、脱出できた者はトラックの下敷きになっている級友を助け出そうとしましたが、6名の命が失われました。この事故は、軍の秘密事項として公には一切が伏されました。また、葬儀の際、田奈部隊の上官が「この非常時に、このくらいの犠牲はやむをえない」と言ったという話も伝わっています。

奈良川のほとりの事故現場には、田奈部隊関係者の手で木製の標柱が建てられましたが、次第に朽ち果てていきました。戦後、昭和28年になって、当時の同窓生が中心になり慰霊碑を建立しました（道路拡幅・整備のため、現在は道の反対側の住吉神社の袂に移設されています）。また、翠嵐高校の正面入口の右手奥には、学徒動員殉難慰霊のため植樹された6本の桜と石柱の慰霊碑、説明版があります。

先日、翠嵐高校の卒業生と話す機会があったので、「戦時中に学徒動員で亡くなった先輩方の話を知っている？」と尋ねたところ、「何となくは聞いたことがあります。でも、こどもの国が弾薬庫・弾薬工場の跡地だったことは全く知りませんでした。」と答えていました。戦後75年、伝えること・伝えることの難しさを痛感しています。

※次の資料から引用させていただきました。

「こどもの国」HP > こどもの国のあそびかた > マニア向けガイド
「翠嵐会（翠嵐高校同窓会）」HP > 思い出 > ふたつの碑物語



断続的に降る雨の中、感動の体育祭！



今年度の体育祭は、新型コロナウイルスの影響で時間・競技種目・観戦者の人数等、多くの制約の中で行うことになりました。↑美術部作スローガン横断幕
 加えて、二転三転していた天気予報が悪い方向に傾き、10/15の朝を迎えました。例年であれば体育祭は6月後半に行っていたので、熱中症対策に追われるところ、今年の敵は雨と寒さ。空模様を睨みながら、どうにか最後までやらせてほしいと終始、願っていました。そのような中、宮田の子どもたちは主体的に動き、全力で走り、全身で仲間を応援していました。また、思うようにいかず、うなだれている級友に駆け寄って励ます姿には胸を打たれました。悪い条件が重なりましたが、3年生を中心に、準備から当日の係の仕事・片づけに至るまで、例年以上に宮田の子どもたちが輝いた体育祭でした。



『吹奏楽部・SSW演奏動画』



先月号でお知らせしました「吹奏楽部」と「SSW（シンガー・ソング・ライター部）」の演奏の様子が「保土ヶ谷区ホームページ（新着情報 > 保土ヶ谷区中学校吹奏楽部・マーチングバンド部 2020）」に up されています。区内の他の中学校の様子もご覧いただけます。個人情報の取扱いにご配慮いただき、お楽しみください（画像等を第三者に配信することはお控えください）。

「地域清掃」中止！（次年度以降は検討中です。）

昨年は悪天候のため中止となった「地域清掃」、今年は新型コロナウイルスの影響で中止にさせていただきました。また、短時間で一斉に全校生徒で取り組む従来の形態は、生徒の交通面での安全対策や地域分担・作業分担の難しさといった課題が以前から取り上げられていたので、この機会に見直しを行っております。次年度以降は、小集団で時間をずらして行う、生徒会やボランティア活動として行う等、大幅に変更する方向で検討しております。

11月の予定

- 11/13(金) 2年日帰り里山体験学習
- 11/16(月)～18(水) 3年期末試験
- 11/26(木)～27(金) 1・2年期末試験



12月の予定

- 12/3(木)～8(火) 文化祭（校内展示）
個別面談（全学年）
- 12/25(金) 終業式

